【授業科目】倫理学（人権を含む）　　Ethics

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
鈴木 孝典	１年次 前　期	選　択	1	１５	講　義			可

授業概要（内容と進め方）及び課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	授業概要／倫理的思考法の基礎を講義形式により解説した上で、現代社会が抱えるいくつかの課題を取り上げ、それらに対する各自の意見を出し合う。それを通して、意見が異なる他者との合意形成を図る技術の基礎を身につけるとともに、責任ある選択をとれる自立した個人の確立を目指す。 進め方／オンデマンド形式で行う。 課題に対するフィードバック方法／提出された課題について、次回講義時に解説を行う。
授業の位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー⑤「将来に向け看護を主体的に学び、人間として自己の成長に努め、専門職としてのキャリアの基礎を形成することができる」の達成に寄与している。
到達目標（履修者が到達すべき目標）	①現代の日本社会が抱える倫理問題を理解し、自らが取るべき行動を模索することができる。 ②直観や思い込みによらず、筋道立てた思考にもとづいてより良い選択を取ることができる。 ③生命倫理が必要とされる歴史的社会的背景を踏まえ、看護者が遵守すべき倫理にもとづいて思考し、行動することができる。
時間外学習に必要な内容・時間	第 1～4 回事後学習：配布した資料を復習する。(各 30 分) 第 5 回事前学習：人口減少が進む日本において個々人に求められていることを考える。(60 分) 第 6～7 回事後学習：配布した資料を復習する。(各 30 分) 第8回事前学習：看護者としてどのような行動をとっていきたいか抱負をまとめる。（各30分） 日本看護協会のWebサイトに、看護職に求められる倫理「看護職の倫理綱領」が示されている(https://www.nurse.or.jp/nursing/rinri/rinri_yoko/index.html)。
	※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習1時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	第１回　イントロダクション―倫理とは何か 第２回　一般倫理課題①―普遍的善と文化 第３回　現代日本社会が抱える問題―少子高齢化・人口減少 第４回　人権と社会保障制度 第５回　一般倫理課題②―よりよい社会づくりのための選択 第６回　生命倫理と看護・臨床検査① 第７回　生命倫理と看護・臨床検査② 第８回　総復習・看護や臨床検査に携わる者の心構え 全て鈴木
評価方法 評価基準	定期試験 60%、提出物 40%
教科書	なし。担当教員が作成した資料を配布する。
参考書等	なし。参考にすべき HP 等を講義の中で適宜紹介する。
学生への助言等	授業はすべてオンデマンドにて実施する。提出物は配信開始日から 2 週間を超えたものは受付けないため，注意すること。